

東アジア文化都市 2026 松本市実行委員会
設立総会・第1回総会
議事録

開催日時：令和7年3月21日（金） 15時～15時50分

場所：まつもと市民芸術館オープンスタジオ

1 開会あいさつ

【臥雲松本市長】

東アジア文化都市 2026 松本市実行委員会の設立総会がこのように開催できることを非常に喜ばしいことだと思っている。

昨年の8月に、松本市は東アジア文化都市 2026 の国内開催都市に選ばれた。この東アジア文化都市は、日中韓の選定都市が文化芸術イベントを通じて相互交流や地域文化の発展を目指すという、重要で意義深い良いプロジェクトであると考えている。この事業に松本市が選ばれたことは、三ガク都を掲げる松本市の文化的な魅力を世界に発信し、クリエイティブ産業の発展にも繋げていく、未来背負う世代が多様な文化に触れて、新たな価値を作り出していく機会になるものと期待している。

昨年の訪日外国人観光客数は過去最高を記録した。これは、これまでのセイジ・オザワ松本フェスティバル、あるいは草間彌生作品などこの地に育まれてきた松本ならではの様々多様な文化が、国内外から評価を受けている場所であることからだと感じている。

山岳・芸術・学びの三ガク都の松本の誇るべき文化観光資源を最大限に活用して、国際文化観光都市にふさわしい事業を展開できるよう、皆さんのこれまで以上のご支援ご協力をいただきますことをお願い申しあげる。

【文化庁文化経済・国際課 グローバル展開推進室 伊藤明子室長】※オンライン出席

本日実行委員会設立総会の開催ということで、松本市の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

東アジア文化都市は2024年に10周年を迎え、松本市は国内都市としては12番目の都市になる。東アジア文化都市は日中韓文化大臣会合の中核的な事業であり、大きな成果となっている事業である。

松本市は、三ガク都ということで非常に文化資源が豊富であり、民間の文化活動も活発で、非常に魅力ある文化都市と認識をしている。今回の取り組みを通じて、この東アジアにおける文化交流の発生と文化都市としての更なる発展、文化による地域活性化、また市民の文化的満足度の向上も目指していただけるような事業にしていきたい。文化庁も最大限バックアップさせていただく。

2 設立総会（進行：事務局次長補佐 清澤文化振興課長）

【説明事項】東アジア文化都市の概要

事務局より説明・質疑なし

[審議事項]

第1号議案 東アジア文化都市2026松本市実行委員会会則（案）

事務局より説明・質疑なし → 承認

第2号議案 東アジア文化都市2026松本市実行委員会委員・役員（案）

事務局より説明・質疑なし → 承認

3 第1回総会

第1号議案 東アジア文化都市2026松本市開催基本方針（案）

事務局より説明・質疑なし → 承認

第2号議案 東アジア文化都市2026松本市実行委員会令和7年度事業計画（案）

事務局より説明・質疑なし → 承認

第3号議案 東アジア文化都市2026松本市実行委員会令和7年度収支予算（案）

事務局より説明・質疑なし → 承認

4 その他（質疑）

【古川委員】

鎌倉市の視察は、どなたが対応するのか、SNSはどなたが運用するのか、一昨年の石川県はなぜ中止になったのか、3点について伺いたい。

【事務局】

- ・鎌倉市の視察は事務局が対応する。
- ・SNSはすでに稼働しているInstagramは西片コーディネーターを中心に事務局で運営する。その他の発信方法については方法・内容とも今後検討する。
- ・石川県は、元旦に発生した震災の影響で中止となった。

【濱崎委員】

過去の開催都市の、事業開催後のインパクトやどのような交流事業が継続されているのかわかる範囲で伺いたい。

【事務局】

- ・新潟市では、ダンス舞踊を通じた街のイベントの発展を機しており、若い世代のダンス交流をというかたちで交流を続けている。
- ・各開催都市、年代や内容は様々だが、売りにしている文化などを中心に可能な限り交流を継続している。

5 閉会